

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第2号
平成28年5月20日
校長 奥田 修也



新年度のご挨拶

北京日本人学校運営理事会
理事長 西澤 学

皆様、こんにちは。今年度の運営理事長を務めさせて頂いております、トヨタ自動車北京事務所の西澤と申します。これから1年間、奥田校長先生、高橋教頭先生をはじめ、学校教職員の皆様ならびに関係者の皆様と協力させて頂きながら、北京日本人学校の運営に努力してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。

私が家族とともに北京に赴任して参りましてから、今年で5年目を迎えました。2人の子供たちがこれまで北京日本人学校でお世話になっていたこともあり、授業参観などで学校の様子をいろいろと伺わせて頂く機会がございました。そして2016年1月より運営理事会の一員となり、理事会の運営に参画させて頂く機会を得ることができたのですが、今まで子供たちが毎日楽しく過ごしていることが当たり前のように思っていた北京日本人学校が、多くの先生方をはじめ、理事の方々、保護者の方々の力強い情熱によって支えられているということに改めて理解することができました。私と致しましても、前任の大橋理事長の後を受けまして非常に身の引き締まる思いですが、北京日本人学校への恩返しをさせて頂くチャンスでもあり、微力ながら尽力を致す所存でございます。保護者の皆様方におかれましては、運営理事会に対するご意見、ご要望がございましたら、是非ともお寄せ頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年度中国から日本を訪れた観光客の方々が499万人と過去最高を記録したことにも象徴されるように、日中間の交流は着実に活発さを増しています。中国における日本イメージは、これまでメディア等から与えられた情報が中心であったものが、「自分自身の身体で理解した日本」に変わりつつあり、日本に対する考え方・見方が大きく変化しつつあると思われまます。このように日中間をとりまく環境が変化の中、北京日本人学校で勉強する児童・生徒たちは、学校生活を通じて日本人としてのものの見方・考え方をしっかり身につけながら、その上で、“中国そのものを教室”として日々様々なことを学ぶことにより、異文化・異なる価値観に対する接し方を身体を通じて理解していくことができると思います。この北京での生活という貴重な経験から、北京日本人学校の児童・生徒たちは、将来中国のみならず、グローバルで活躍できる素地としての「自分の芯」を身につけていくことができるものと思います。

これまでも素晴らしい教育目標に基づき運営されて参りました伝統ある北京日本人学校におきまして、私と致しましても運営理事会のメンバーとして児童・生徒の皆さんが明るく、楽しく、元気よく学びあうために相応しい環境を整備するべく、尽力させて頂く所存です。今後とも、学校運営に関係するすべての皆様方の変わらぬご支援とご理解を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

平成28年度 北京日本人学校 運営理事会名簿

役職	氏名	所属・役職	役職	氏名	所属・役職
名誉理事長	木寺 昌人	大使館 特命全権大使(5/20現在)	理事	高畑 正徳	日立(中国)有限公司 副総経理
名誉副理事長	伊藤 康一	大使館 公使	理事(経理担当)	田中 健一	三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 北京支店 副支店長
理事長	西澤 学	トヨタ自動車(株)中国事務所首席代表	理事	米倉 真	日通国際物流(中国)有限公司 部長
副理事長	森 秀章	ソニー(中国)有限公司 経営管理本部副総裁	理事	柴丸 茂	佳能(中国)有限公司 高級副総裁
理事	亀井 啓次	大使館 領事部長	理事	中田 清司	松下電器(中国)有限公司 董事
理事	菊地 信太郎	大使館 広報文化センター 一等書記官	理事	古谷 浩一	朝日新聞 中国総局長
理事	篠田 邦彦	日中経済協会北京事務所 所長	理事	市川 美由紀	北京日本人学校 父母会会長
理事	三木 徹	双日(中国)有限公司 部長	理事	奥田 修也	北京日本人学校 校長
理事	本田 和秀	凸版印刷北京事務所 代表	監事	松原 寛	有限責任監査法人トーマツ
理事	大野 繁	中建-大成建築有限責任公司 董事・副総経理	事務局	高橋 勝	北京日本人学校 教頭
理事	山口 忠弘	北京京盾西科姆電子安全 有限公司 総経理	事務局	駒津 雅司	北京日本人学校 事務局長

全校遠足を終えて

特活部

5月6日(金)、本校の特色ある教育活動の一つであるたてわり班による全校遠足を実施しました。「北京の自然や世界遺産に親しむ」というねらいの下、本年は頤和園に行きました。この日までに、リーダー会議や2回のたてわり班昼食会を行い、コース設定や班のめあて、一緒に歩く際のペアなどの準備をし、仲良く楽しい一日にしようという一体感を高めてきました。当日は、天候に恵まれ爽やかな風が吹く中、リーダーを中心に頤和園の史跡や自然を体全体で感じながら歩くことができました。また、一緒にお弁当を食べ、班遊びをするうちに学年・性別の枠を越えて次第に絆が深まり、初めは一緒に歩くペア同士も何となくぎこちない様子でしたが、学校に戻ったときは「またねえ〜。」と親しそうに手を振る姿がありました。わずか一日でしたが、子どもたちの心の距離は確実に縮まったようです。今後も、こうした行事の中で異年齢の子どもたちが互いに理解し合い、高め合っていくことができるよう、教職員一同支援していきたいと思えます。



水泳学習が始まりました

体育部

5月3日(火)より、郡王府体育中心遊泳場(小学部1年生、6年生、中学部)と二十一世紀遊泳館(小学部2~5年生)で水泳学習が始まりました。

今年度は小学部は各学年6回、中学部は2回の水泳学習を予定しています。それぞれの発達段階に合わせて、水遊びを通して水に慣れ親しんだり、クロールや平泳ぎのタイムを計ったりします。上級生の中には最深部が2メートルのプールで泳ぐ児童生徒もいます。どの学年・学部も到達目標の達成に向けて、計画的に学習を続けています。今年度も専門的な知識や技能をもった水泳指導員を招聘して、指導計画を共に確認しながら指導しています。

水泳学習を通して、児童生徒一人ひとりが水に親しみ、達成感や喜びをたくさん味わってくれることを期待しています。



校区探検を終えて

小学部3年

小学部3年生では、社会科の学習で「学校の周り探検」をしてきました。ほとんど子どもは登下校の際、公寓バスに乗っているため、なかなか学校の周りの様子を知ることができません。当日は元気に学校を出発し、バスの中から見たことのある場所を確認しながら、歩きました。道路の広さ、車や人の様子、店の様子など、探検しながら気づいたことをしっかりメモしたりすることができていました。約2時間近く歩いたので最後はヘトヘトになっていましたが、自分達の学校の周りの様子を知ることができ、達成感もあったようです。今回調べたことは授業で絵地図にまとめ、地図記号の勉強へとつながっていきます。



ありがとうございました

5月4日、5日に実施した熊本地震募金にご協力いただきありがとうございました。合計9559.15円は、日本大使館を経て、熊本及び関連地域への支援とさせていただきます。なお、集まったお金の中に、日本円、及びその他の通貨が混ざっておりました。そのお金については、一旦、学校で保管し、別の社会貢献活動や義援金募集等に寄付させていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

(北京日本人学校 生徒会)